



柘植地域 まちづくりだより 第245号

2021 三重国体
オープン種目

キンボールを楽しむ



柘植地域の住民親睦をめざして
第2回スポーツ大会を開催
10月6日(日)午後、柘植小学校体育館
で、4区の住民が約20名集まり、三重国体
のデモンストレーション種目でもある「キン
ボールスポーツ」を体験しました。

発行日

二〇一九(令和元)年十月十五日(火)

発行

柘植地域まちづくり協議会事務局
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地
(柘植地区市民センター内)
〒五二九-一四〇二
電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三



キンボールについて

カナダ発祥、直径122センチ、1キログラムのボールを使って1チーム4人のチームがコートに3組入ってボールを打ち合うゲーム。2021の三重国体で伊賀市が試合会場となるため、普及活動が進められています。



最初に、三重県キンボール協会の指導者4名の方から、ルールやボールの打ち方のコツを教えていただくことで、誰もがスムーズに本格的なゲームができるようになりました。



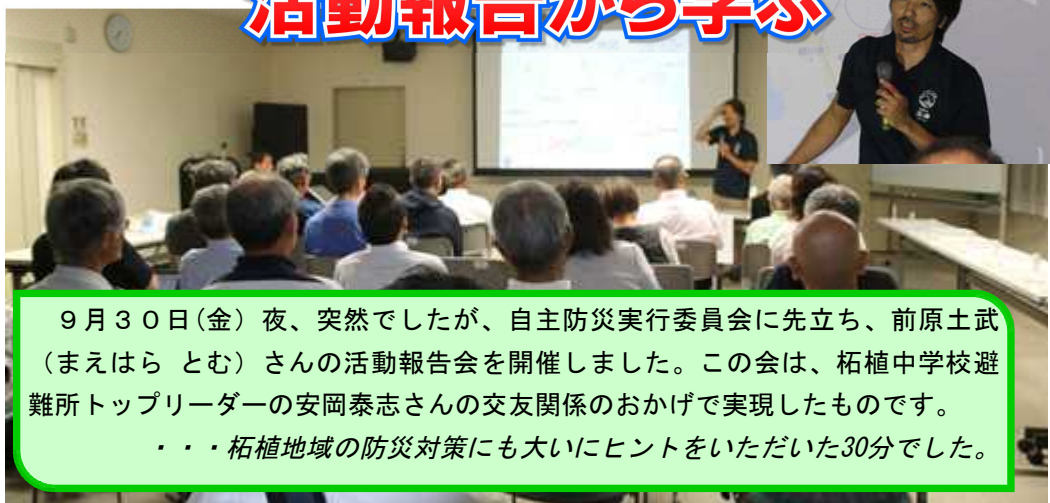
柘植地域俳句コーナー
凱旋のごとく

家路に

稲川機

西野登志子

「災害NGO結」前原土武さんの活動報告から学ぶ



9月30日(金)夜、突然でしたが、自主防災実行委員会に先立ち、前原土武(まえはら とむ)さんの活動報告会を開催しました。この会は、柘植中学校避難所トップリーダーの安岡泰志さんの交友関係のおかげで実現したものです。
 ……柘植地域の防災対策にも大いにヒントをいただいた30分でした。

前原さんは、日頃から、災害NGO結の活動で災害現場へ駆け付け、現地の混乱を解消するための緊急支援活動を行うなど、その復旧・復興活動にも尽力されておられます。



前原土武さんについて

災害NGO結代表。1978年沖縄県生まれ。美容師、アウトドア添乗員を経て、東日本大震災をきっかけに現職。
 発災後24時間以内に災害地に駆けつけ、被害の概況の発信や今後必要とされる支援を見立て、復旧・復興期まで幅広く支援調整業務を行う。

団体名である「結」は、出身地沖縄の「ユイメール」(共同作業の習わし)と、自然災害で被害に遭われ困っている方々と、それをサポートしたい方々を少しでも早く繋げる事で未来の笑顔に結び付いてほしいという想いが込められている。
 (NGO結のHPより引用)

「普段から顔の見える関係を築いておくこと」、「地域の力を合わせて災害に強くなること」、「平時にできないことは有事には出来ないこと」など貴重な経験から出される教訓を示していただきました。また「台風などで屋根修理に使用するブルーシートは「厚手の#3000」、土のう袋も【UV処理】されている物を使用すること」なども実例として示してくださいました。

私達の多くは、幸いにも今日まで大災害に遭遇することなく生活できていますが、それが永久に続く保障はありません。災害を疑似体験として行ってみることも「防災訓練」のひとつです。
 近所・近隣地区の方と力を合わせ、災害に対して強くなるまちづくりをめざしましょう。

鞆田地域と柘植地域

災害に線引きはありません

：鞆田と連続する小杉住民の生活圏

10月4日(金)

午後、鞆田地区市民センターで、昨年引き続き柘植地域の隣接地域である「鞆田地区」と防災に関する懇談会を開催しました。



川の流れとしては、小杉区を流れる野田川は河合川そして柘植川と合流していく谷となります。

小杉区は上鞆田区等と県道50号で生活圏が繋がっており、農業面での互助関係があります。よって、今後も防災ほか各方面で関係を築いておく必要があります。

※8月には西柘植地域とも防災に関する連携会議をもちましたが、今後は県境を越えて油日地域との連携も検討しています。

今年度は、防災訓練を各区にて実施しています

10月6日(日)、午前、柘植地域12区のうち、10区で防災訓練が開催されました。残りの2区は後日に実施されます。

なお、来年度は柘植地域全体での避難所開設訓練も含まれることとなります。

動ける身体をつくって 健康寿命を延ばそう!

健康福祉部会

10月5日(土)午後、市民センターホールで、今年度初めての部会事業として健康づくり講演会を開催(20名参加)しました。



講師には、上野総合病院の理学療法士である猪田茂生さんにお越しいただき「動ける身体をつかって健康寿命を伸ばそう!」と題してお話しをいただきました。

各自「ロコチェック」等により自分の身体を知った上で、各部位のストレッチングや筋力維持などを進めると効果的であるとの話を受けて、実際に参加者は、身体を動かしかっこをつかんでいました。



ロコ
チェック
とは?

QRコードを読み取って説明をご覧ください。



11月3日のトレラン準備進む!

10月6日(日)夜、トレイルランニング大会地元ボランティア(誘導係・接待係)の打ち合わせが行われました。一か月後にせまった大会に向けて、450名のランナーたちが安全に楽しくレースに参加できるように、また柘植地域のよさを感じてもらえるよう、打ち合わせしました。

トレラン事務局からの話にも「この機会が地域おこし、まちおこしとなることを期待している」とのあいさつをいただきました。

トレランの大会には、柘植地域の魅力を感じてもらおうという意義もあります。
・・・地域を挙げて大会を盛り上げていきましょう!・・・



それぞれの「いろ」・「よさ」が 虹のように かがやきますように 柘植保育園運動会開催!

9月29日(土)、柘植保育園で運動会が開かれ、子どもたちは保護者や地域の人々に応援されながら、楽しんでいました。



9月21日の小学校運動会で、「旗取り」に参加。子どもたちは小学校生活に胸をふくらませました。



令和元年度 「しぐれ忌」のご案内



山出区では、芭蕉さんの遺徳を偲び、毎年十一月十二日に「しぐれ忌」を開催し、その偉業を顕彰しています。本年度は「しぐれ忌」記念俳句手帳を作成しました。ご来場の方にお配りします。

開催日時

令和元年十一月十二日(月) 午前九時半〜

会場

萬壽寺(伊賀市柘植町山出) ※駐車場あり

コーラス「ユー」の方々による芭蕉讃歌の合唱、開式のことば、顕彰のことば、法要、墓参、献花と続きます。(公益財団法人芭蕉翁顕彰会主催)

午前十時二十分からは、山出区しぐれ忌協賛事業実行委員会主催による**記念講演**を開催します。

演題『奥の細道とふるさと伊賀』

講師 高井悠子さん(芭蕉翁記念館学芸員)

※閉会は午前十一時三十分の予定です。

萬壽寺本堂では、芭蕉さんへの「絵手紙」「手向けの句集」を展示、同桃青殿では、伊賀市主催芭蕉祭の「芭蕉翁献詠俳句」の特選句の掲示。

境内では、山出区有志による「菊花・寄せ植え展」開催、ご来場者には、山出区むらづくり推進委員と有志女性による甘酒、鬼饅頭のもてなしもあります。

俳句募集もしておりますので、皆様のお越しをお待ちしております。
山出区しぐれ忌協賛事業実行委員会

未来へ続く節目をともに刻もう



寄附は

一口1,000円

カンパは金額自由。

詳しくはお問い合わせを

柘植駅130周年
寄付・カンパのお願い
伊賀市の「キラッと輝け地域応援補助金を活用し、130周年記念として柘植駅跨線橋に柘植のホントかるたを設置する計画です

斎王、ふたたび...

10月26日に行われるいがまち展覧会で、あけぼの学園高校の生徒のみなさんに出演していただき、斎王イベントを開催します。

10月26日(土) 11時頃から
いがまち公民館の南駐車場付近にて

まちづくり協議会の活動紹介

例年行っている活動紹介は、西柘植市民センター内の会議室です。(両日とも)

まちづくり協議会主催のバザー

例年行っているバザーは、いがまち公民館の外南側の特設テントにて行います。(26日のみ)

まちづくり協議会の店

今年は、役員が中心となり、コーヒー&卵の販売を行います。(26日のみ)

斎王イベント

いがまち展覧会



もっとホームページを活用してください。

まち協の取り組み事業のチラシなどは、ほとんどホームページに掲載しています。

回覧版を見る機会が少ない人も多いようですので、うまくつかってくださいね。

まち協HPのQRコード



☆☆☆事務局だより☆☆☆

▼台風19号に伴い、列車や高速道路、店など計画的な運休・休業が実施されました。計画していても想定外のこと起こりうる昨今、想定される問題を最小限にし限られたマンパワーを想定外の事態に集中させるためには重要なことです。▼私たちも計画運休などの結論だけを受け取って終わりではなく、なぜその判断に至ったのかということが解釈できる知識を付けることが重要。TV・ラジオの解説はよくできていますね。▼情報ツールとしてスマホも重要です。柘植まち協HPのリンクの活用を！(西田方計)